

2025年2月25日
西日本旅客鉄道株式会社

阪和線における信号トラブルの原因と対策について

2024年10月13日に、阪和線の東貝塚駅構内で発生させた信号トラブルについて、原因が判明しましたので、対策と合わせてお知らせします。

お客様にご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めます。

1 発生日時

2024年10月13日（日） 9時58分頃

2 発生場所

阪和線 東貝塚駅構内

3 概 情

9時58分頃、大阪指令所の指令員は、モニター画面にて、東貝塚駅の信号が正常に動作していないことを認めました。現地の確認のため、阪和線では和泉府中駅～熊取駅間で運転を見合させていましたが、復旧作業が完了し運転に支障がないことが確認できたため、13時08分に運転を再開しました。

4 列車影響

<運 休>計90本（上り47本、下り43本）

<遅 れ>下り特急電車くろしお5号[新大阪（9：28）発 新宮（13：53）行]が
181分遅れたのを最大に、計57本（上り24本、下り33本）に遅れ

<影響人員>約41,000人

5 原 因

電気転てつ機（※）とレールを接続するピン型の部品が脱落し、分岐器の開通方向が定まらない状態となり、信号機が赤信号のまま変わらなくなつたためです。

※電気転てつ機：電気制御によりモーターでレールを動かし分岐器を転換させる装置

6 対 策

- ・同種部品について、脱落防止用金具を用いずにナットで固定するタイプを新規開発し、順次取り替えを実施します。
- ・上記開発品への取り替えまでの間、同種部品の浮き上がり状態を目視点検により確認し、浮き上がりが認められた場合、新しい脱落防止用金具に交換します。

【別紙】発生時の状況



ピン型部品がなく開通方向が
定まらない状態

